

研究成果報告会

松浦武四郎研究の 最前線 2018

今年、生誕から 200 年を迎えた松浦武四郎は、幕末の北海道を6回にわたって踏査し、さまざまな記録を残したばかりでなく、幅広い方面で多彩な活動を行いました。そうした武四郎の多様さの中で、特に明治政府の官職を辞した 52 歳から晩年に至るまで熱心に行った古物収集にスポットを当て、これまで知られることのなかった「好古家」としての武四郎を、各方面の研究者による最新の研究成果をもとにみなさんにお伝えします。

2018 年

9月29日 ■土■ **受講無料**

13:00 ▶ 16:15 [12:15~受付]

※終了時間は内容により変更する場合があります。

会場  **三重県総合文化センター 多目的ホール**
三重県男女共同参画センター (津市一身田上津部田 1234)

申込 **事前申込制・先着順**

電話・FAX・ホームページ・Eメール・窓口・郵送

- ※申込の際は行事名・お名前(ふりがな)・電話番号をご明記ください。
- ※受講ハガキ等は送付いたしません。
- ※未就学児のご入場はご遠慮ください。
- ※座席に余裕があれば当日参加可能です。

主催 近代博物館形成史研究会

共催 三重県生涯学習センター・三重県総合博物館

協賛 松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会

科学研究費補助金 基盤研究B
好古家ネットワークの形成と近代博物館創設に関する学際的研究 (研究代表者 内川隆志)

松浦武四郎肖像写真 (松浦武四郎記念館蔵)

三重県総合博物館

第 21 回企画展

幕末維新を生きた旅の巨人

松浦武四郎

2018. 9. 15 - 11. 11

関連事業

松浦武四郎研究の最前線 2018



基調報告

玩物喪志にあらず - 好古家松浦武四郎の古物蒐集 -

内川隆志
(國學院大學研究開発推進機構教授)

報告

好古家武四郎のネットワークと人物像

多氣志楼、古銭も愛す

武四郎が蒐めた「古き」モノ - 好古から考古へ -

『武四郎涅槃図』からみた武四郎愛玩の木彫品

シーボルト兄弟の明治蝦夷見聞 - 日本人アイヌ起源説と蝦夷
植民地化計画をめぐって -

三浦泰之 (北海道博物館学芸主幹)

山本 命 (松浦武四郎記念館主任学芸員)

徳田誠志 (宮内庁書陵部陵墓調査官)

長谷洋一 (関西大学文学部教授)

堅田智子 (上智大学文学部特別研究員)

報告者



内川隆志 國學院大學研究開発推進機構
教授・國學院大學博物館 副館長

1961年和歌山県生まれ。國學院大學文学部史学科卒業。1985年國學院大學文学部助手(博物館学研究室)、1987年國學院大學考古学資料館学芸員を経て、2006年國學院大學研究開発推進センター助教授、2014年より現職。



三浦泰之 北海道博物館 学芸主幹

1974年静岡県清水市(現静岡市)生まれ。京都大学文学部卒業。京都大学大学院文学研究科中退の後、北海道開拓記念館(現北海道博物館)に採用され、現在に至る。専門分野は近世・近代の北海道を中心とする文化史。主要業績:共編著『松浦武四郎研究序説-幕末維新时期における知識人ネットワークの諸相-』(北海道出版企画センター)。



山本 命 松浦武四郎記念館 主任学芸員

1976年大阪府生まれ。奈良大学文化財学卒業後、三重大学大学院人文社会学研究科へ進み、2001年に中退。同年4月より松浦武四郎記念館学芸員となる。松浦武四郎の魅力と功績を発信すべく、資料の調査・研究、講演や教育など普及活動に努める。主要業績:単著『幕末の探検家 松浦武四郎入門』(月兎舎)。



徳田誠志 宮内庁書陵部 陵墓調査官

1962年岐阜県岐阜市生まれ。関西大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士(文学)。日本学術振興会研究員を経て、宮内庁入庁。主任研究官、首席研究官を経て現職。専門分野は古墳時代の研究、仁徳天皇陵をはじめとした古代高塚式陵墓の調査研究に従事。主要業績:共編著『日本全国 古墳学入門』『宮内庁書陵部所蔵 古鏡集成』(学生社)。



長谷洋一 関西大学文学部 教授

1960年奈良県奈良市生まれ。関西大学文学部哲学科(美学・美術史)卒業。博士(文学)。堺市教育委員会社会教育課、堺市博物館研究員などを経て現職。専門分野は日本彫刻史の研究。主要業績:共著『カラー版日本仏像史』(美術出版社)。



堅田智子 上智大学文学部 特別研究員

1987年東京都生まれ。上智大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程修了。博士(史学)。専門分野は明治・大正時代の日独関係史、アレクサンダー・フォン・シーボルト研究、広報外交。主要業績:共訳『シーボルト日本博物館の概要と解説-原文・翻刻・翻訳』(国立歴史民俗博物館)。単著「アレクサンダー・フォン・シーボルトと黄禍論」(『上智史学』)。

司会



太田光俊 三重県総合博物館 学芸員

1978年三重県津市生まれ。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士(文学)。三重大学非常勤講師、皇學館大学佐川記念神道博物館助手などを経て現職。専門分野は織豊期の研究、三重県周辺の地域を素材とした歴史研究。主要業績:共編著『日本史学のフロンティア』1・2(法政大学出版局)。

三重県総合博物館 第21回企画展
幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎

会期 平成30年9月15日(日)▶11月11日(日)

会場 三重県総合博物館 企画展示室

研究成果報告会の終了後、学芸員・報告者の案内による見学会を予定しています(約60分)。観覧チケットをご購入ください。

申込・問合せ先

MIE CENTER FOR THE ARTS
三重県総合文化センター (公財) 三重県文化振興事業団
三重県生涯学習センター
(3階事務室)
tel.059-233-1151 / fax.059-233-1155

〒514-0061 津市一身田上津部田 1234
E-mail: manabi-kouza@center-mie.or.jp
ホームページ: https://www.center-mie.or.jp/manabi/
休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌平日)
開館時間: 9:00 ~ 19:00
駐車場混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

主催イベント一覧



ご記入いただいた個人情報は、講座に関する連絡のために使用させていただきます。なお、お預かりした個人情報は、個人情報保護法に基づき、適切に管理いたします。個人情報に関するお問い合わせは、公益財団法人三重県文化振興事業団 総務部 (Tel: 059-233-1103) まで。

申込用紙

研究成果報告会
松浦武四郎研究の最前線 2018

名前(フリガナ) センター記入欄
電話番号をご記入ください

受付日【 月 日 】
受付方法【 FAX 来館 】

名前	フリガナ	電話	()
名前	フリガナ	電話	()